

地震に備える心得

1 地域の集合場所を確認しよう（区で決めた一時避難場所）

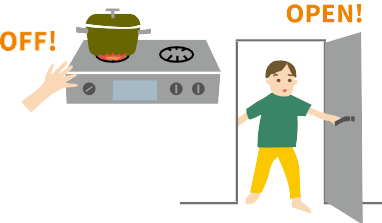
地震発生の際に、近所の人と集まる集合場所、避難生活が必要となった場合の避難先（親戚・知人宅、指定避難所など）を確認しましょう。

2 日ごろから備えよう（備蓄・ローリングストック、家具固定、損害保険加入）

食糧などの物資は、最低3日分、できれば1週間分を備蓄しておきましょう。また、連絡を取れる手段、緊急で集合する場所などについて、家族で話し合っておきましょう。

3 地震は初動が大切

まず、自分の身の安全を守り、揺れが収まったらあわてず、すばやく火の始末。ドアや窓を開けて逃げ道を確認しましょう。



水害・土砂災害に備える心得

1 地域の危険性を確認しましょう

笛吹市洪水・土砂災害ハザードマップで、災害による地域の危険性を確認しましょう。

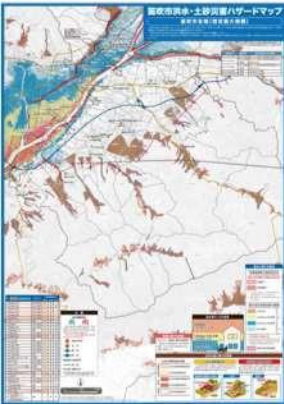
2 避難情報を収集しましょう

3 避難先を決めておきましょう

速やかに避難するため、指定された避難所だけでなく、身の周りの高い場所、知人や親せきの家などへの避難も考えておきましょう。



笛吹市
洪水・土砂災害
ハザードマップ



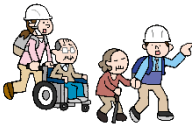
ハザードマップの活用法

1 ハザードマップで自宅の位置を確認しましょう



色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばにお住まいの方は、避難してください

2 避難場所等を確認しましょう



浸水の危険があっても、次の3つの全てを満たす場合は、自宅にとどまり、安全を確保することも可能です。

3 避難ルートを考えてみましょう



- 洪水で家が倒壊する可能性がある区域ではない
- 洪水する深さより高いところにいる
- 浸水しても、水が引くまで我慢できる、水や食料などの備えが十分にある

4 災害や避難について、話し合ってみましょう

災害に関する情報を入手しましょう

●笛吹市防災無線メール
やまなしくらしねっと
メールマガジンサービス



※空メールを送信すると防災無線メールに登録できます。

●災害発生時の
避難方法について



●笛吹市防災アプリ
防災ふえふき



マイ・タイムライン

わが家の災害時
行動計画

～もしもの災害に備え、家族で話し合いましょう～

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、いつ起こるかわからない自然災害に備え、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理し、自ら考え命を守る避難行動に役立てるための計画です。



マイ・タイムラインの使い方

1 危険を知る。

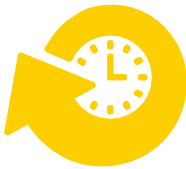
まず、ハザードマップなどで、自宅周辺の災害の種類を確認し、災害でどのようなことが起こるのかイメージしましょう。

2 災害時の行動を考える。

災害発生時に、自分自身や家族が「いつ」「何をすべきか」を考え、時系列に沿って行動を確認しましょう。

3 「マイ・タイムライン」を見えるところに貼る。

完成したら、見えるところに貼り、災害に備え、必要な準備も進めましょう。



笛吹市 _____ 町 _____ 地区 _____
家のマイ・タイムライン

作成日 _____ 年 _____ 月

家族の連絡先	例：笛吹 太郎	090 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

★避難に支援が必要な人 ☐いる ☐いない
(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)



★ペット ☐いる ☐いない



非常持出品を準備しましょう

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 飲料水 | ☐ 衣類、下着類 | ☐ 体温計 | ☐ ペット用品 |
| ☐ 調理不要の保存食 | ☐ 眼鏡 | ☐ ラジオ | ☐ |
| ☐ 現金 | ☐ コンタクトレンズ | ☐ 懐中電灯 | ☐ |
| ☐ 通帳、印鑑 | ☐ 常備薬 | ☐ 雨具 | ☐ |
| ☐ 保険証、免許証 | ☐ 消毒液（アルコール） | ☐ 電池 | ☐ |
| ☐ 携帯電話 | ☐ タオル | ☐ 軍手 | ☐ |
| ☐ 充電器（乾電池式） | ☐ マスク | ☐ 生理用品 | ☐ |





水害・土砂災害用 マイ・タイムライン

	ハザードマップでチェック	避難行動のチェック	家庭の状況チェック	
水害	自宅の危険性は？ □あり（浸水想定区域） 【想定浸水域 m】 □あり（建物の倒壊が想定される区域） □なし	避難する場所は？ □自宅の上階【 階】 □親戚・知人の家【 】 □指定避難所【 】 □その他【 】	避難に支援が必要な人は？ （高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など） □いる→ 高齢者等避難 の発令で避難！ □いない→ 避難指示 の発令で避難！ ※その他の避難のタイミング（あれば記入） 【 】 避難する場所までにかかる時間は？【 分】	ペットは？ □いる □いない
土砂災害	自宅の危険性は？ □あり（土砂災害(特別)警戒区域） □なし	避難する場所は？ □頑丈な自宅 【マンション等の上層階】 □親戚・知人の家【 】 □指定避難所【 】 □その他【 】	避難に支援が必要な人は？ （高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など） □いる→ 高齢者等避難 の発令で避難！ □いない→ 避難指示 の発令で避難！ ※その他の避難のタイミング（あれば記入） 【 】 避難する場所までにかかる時間は？【 分】	ペットは？ □いる □いない

水害、土砂災害の危険性がない地域にお住まいの方でも、次の表に沿って災害への対応をご確認ください。

	警戒レベル	行政からの情報等	私と家族の行動	地域の活動
日ごろの備え	レベル0 		□非常持出品（備蓄品など）を準備 □火災保険（水災補償付き）に加入 □新聞、テレビ、インターネットなどで防災情報を収集 □避難する場所までの経路を確認 □家族の災害時の連絡方法を確認 □笛吹市防災無線メールに登録 □ □	□防災訓練に参加する □近所の人と顔の見える関係を作っておく □近所の人と協力体制を話し合っておく □ □ □
1〜3日前	レベル1 	大雨や台風の予想 早期注意情報	□テレビやインターネットで天気予報をチェック □家族の今後の予定や居場所の確認 □家の周りに風雨で飛ばされそうなものがないか確認 □親戚や知人に避難させてもらうことを依頼 □非常持出品（備蓄品など）を確認 □ □	□ □ □ □ □ □
注意報	レベル2 	大雨注意報 氾濫注意報 土砂災害注意報	□避難先、避難経路を再確認 □避難の準備（非常持出品などの準備） □携帯電話の充電を確認 □雨戸を閉める、大切なものを上の階に □今後の雨量や予報を確認 □ □	□ □ □ □ □ □
警報・高齢者等は避難	レベル3 	大雨警報 氾濫警報 土砂災害警報 高齢者等避難	□テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の避難所の開設状況や雨量などを確認 □避難の準備（非常持出品などの準備） □ 高齢者等避難 の発令で避難開始 □ □ □	□近所の人に避難の呼びかけ □避難行動要支援者の避難支援 □ □ □ □
全員避難	レベル4 	大雨危険警報 氾濫危険警報 土砂災害危険警報 避難指示	□ 避難指示 の発令で避難、完了 □携帯電話、ラジオなどで最新の状況を確認 □ □	□ □ □ □ □
災害発生	レベル5	大雨特別警報 氾濫特別警報 土砂災害特別警報 緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保！ 災害が発生・切迫！自宅内や近くの建物など少しでも浸水しない高い場所や、少しでも土砂災害の危険が少ない場所に移動！ □	

※気象情報や警戒レベルが発表されるタイミングは状況により変化します。状況によっては、計画より早めに避難行動を起こすことも大切です。



地震災害用 マイ・タイムライン

	避難行動のチェック			家庭の状況チェック
笛吹市内では南海トラフ地震において震度5強または、6弱の地震発生が想定されています	【震度 】以上のとき、または区内に被害があるとき	区の集合場所が決まっているときは【 】に集まる 区の集合場所が決まっていないときの行動は【 】とする	自宅建物に被害がない場合は、自宅に戻る 自宅建物に被害がある場合は、指定避難所、親戚・知人の家などのうち、【 】に避難	避難に支援が必要な人は？ （高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など） □いる □いない ペットは？ □いる □いない

	私と家族の行動	地域の活動
日ごろの備え	□非常持出品（備蓄品など）を準備（リュックなどに入れておく） □自宅の耐震性能の確認、必要に応じて改修 □家具の転倒・落下物防止対策をする □家庭用消火器の確認 □地震保険に加入 □新聞、テレビ、インターネットなどで防災情報を収集 □家族の災害時の連絡方法を確認 □笛吹市防災無線メールに登録 □	□防災訓練に参加する □近所の人と顔の見える関係を作っておく □近所の人と協力体制を話し合っておく □ □ □ □ □
地震発生	まずは自分の身を守る □まずは低く、頭を守り、動かない □倒れてくる家具や落下物に注意 □丈夫な机の下に避難 □ □	□ □ □ □ □ □
初動〜	□落ち着いて状況を把握 □家族の安全を確認 □火の始末 □窓やドアを開けて逃げ道を確保 □ □	□ □ □ □ □ □
避難準備	□余震に注意する □家を出るときは、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める □非常持出品（備蓄品など）を確認 □区の一時避難所に集まる □避難の際には、ブロック塀などには近寄らない □ □	□近所の人に声をかけ安否を確認 □ □ □ □ □ □
	□自宅が被災した場合、避難先に避難する □指定避難所に避難する場合、地域でまとまって避難する □自宅の様子が安全であれば、自宅に戻って在宅避難する □	□協力して消火・救出活動を行う □ □ □ □
避難生活	□災害用伝言ダイヤル（171）やメール、SNSなどを活用して無事を知らせる □集団生活のルールを守る □ □	□避難所の運営に積極的に参加する □ □ □ □

地震は予測できない突発性の災害です。日ごろの備えが大事になります。